

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	進行期直腸癌の S100A4 依存性癌幹細胞ニッチ形成と NCRT 抵抗性の関連の解明についての単施設後方視的研究 (B22-112)
当院の研究責任者 (所属・職位)	病院病理部 職位なし 高橋 博之
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>進行期直腸癌の治療法に術前化学放射線療法 (NCRT) + 外科療法がありますが、その施行例の約 55% は NCRT 抵抗性を示します。申請者の研究グループは、婦人科癌で - カテニンにより発現誘導される S100A4 が、癌細胞や間質細胞の非筋細胞性ミオシン (NM) と p53 の機能制御を介して (EMT) / 癌幹細胞化を誘導することを報告しました。</p> <p>S100A4 は、進行期直腸癌の NCRT 抵抗能獲得機構の主たる役割を演じる分子である可能性があります。S100A4 が NM / p53 シグナル系制御により直腸癌細胞の EMT / 癌幹細胞化を誘導し、同時にこの癌幹細胞の周囲に集積した S100A4 陽性間質細胞が癌・間質相互作用を介して癌幹細胞ニッチを形成し、これらの複合作用により直腸癌細胞は NCRT 抵抗能を獲得するという仮説を様々な分子病理学的手法を駆使し実証することを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	2015年1月1日から2021年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間内に進行大腸癌で当院に入院され手術を受けられた方 また、上記期間内に進行直腸癌で当院に入院され、術前補助化学放射線治療後に手術を受けられた方
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2015年1月1日から2021年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録を利用します。</p> <p>病理診断用に作製した組織検体の残余組織ブロックを使用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の遂行のための費用は科学研究費補助金を使用します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p> <p>利益相反については、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。</p>
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：北里大学病院病院病理部

北里大学医療衛生学部医療検査学科病理学教室・教授

担 当 者：高橋博之（タカハシ ヒロユキ）

電 話：042-778-8300

備 考